

防犯訓練～より緊張感をもって取り組みました～

5月9日、不審者が侵入したという想定のもと、安全確保のための対応訓練を行いました。

今回も千葉西警察署の生活安全課の警察官が2名協力をしてくださいました。

前日に東京都 立川市立小学校に2名の不審者が侵入し、教職員に暴行を加えたことが報道された直後です。安全であるべき小学校に暴漢が侵入、という衝撃的な事件であったため、お子さんたちが必要以上に恐怖を感じることがないように、不審者役を務めた警察官の方も配慮してくださいました。

訓練が終わり、警察官の方から講評をいただきました。

- ・3年生の昇降口からの侵入であったが、児童は先生の指示を静かに聞き、迅速にバリケード築いていた。
- ・不審者役に教諭が声をかけても無視をして侵入を続けるのに対し、教職員が笛を吹いて場所を知らせるとともに、複数で対応できていた。
- ・2階に上がった際、6年、5年、4年の廊下の扉が閉められており、各学年フロアへの侵入を防いでいたのがよかった。
- ・中をのぞいてみたが、どのクラスもバリケードを築き、カーテンで侵入を防いでいた。中にいるはずの児童は静かに隠れていた。教職員が可動式家具でさらに侵入を防いでいた。
- ・教職員が「さすまた」の他、ほうきやモップなどを手に持ち、児童に近づかせないように守っていた。
- ・おとなになっても、このような事案は起きる可能性がある。そのようなとき、今回の訓練を思い出し、自分の身を守る行動をしてほしい。

★何より大切なのは、速やかに警察に通報することである。不審者の侵入をいち早く職員室や事務室に知らせるようにしてほしい。

本校のような塀のない校舎への侵入は容易かもしれません。しかし、名札着用のない来訪者に対しては全職員が声をかけたり、登校後や休み時間終了後、昇降口の扉を閉めたり、通用口を開けた場合は閉めたりするなど、安全性を向上させる取り組みは日々行っています。何より、保護者や地域の皆様が「お子さんを守る」という安全への意識が高いことが大きいと思われます。今後とも、名札の着用及び、事務室に声をかけてからの入室にご協力をお願いします！



頭が見えますか？
うまく隠れています